

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	南部クリーンセンター
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-890-2190
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	南部クリーンセンター環境学習事業			

【事業全体概要】

事業概要	南部クリーンセンターの施設を活用して、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供する。「エコホテル」の展示ギャラリーでは、環境パネル展や、環境に関する図書の閲覧、またパソコンによる環境クイズなどを利用して環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクルを体験してもらい、参加者の環境意識の向上に寄与する。				
年度概要	利用者数（見学者・学習室利用者等） 年3,750人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年25回程度 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ問題を始めとする環境学習の場を提供して、広く市民の環境意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① エコホテル自主企画講座回数（見学会等を含む。）	回	0	0	23	25	25
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	エコホテル自主企画講座参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	550 549	550	600
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			（目標達成度） 99.8% （得点） 35点				
成果指標②	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			（目標達成度） （得点）				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	15,239	15,581	15,657	15,815
	(事業費)	271	527	217	375
	(職員人件費)	14,968	15,054	15,440	15,440

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	利用者数（見学者・学習室利用者等） 年3，891人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年2 3回 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴	各講座用消耗品関係 施設紹介・分別収集啓発用パ ンフレット印刷関係 体験学習業務委託関係	総額	217	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	217	
令和 7 年度	利用者数（見学者・学習室利用者等） 年3，750人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年2 5回程度 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴	各講座用消耗品関係 施設紹介・分別収集啓発用パ ンフレット印刷関係 体験学習業務委託関係	総額	375	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	375	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
施設見学会について、昨年度は23回実施することができた。今後は、より魅力ある事業や広報についての検討が必要である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
NPO法人、管理運営事業者とも協働する中で、魅力ある施設見学会や、新たな自主企画事業の開催などを通じて、環境保全意識の啓発を推進する。						